

潮がい



ながす議会だより

No.120



平成26年12月定例会

第4回定例会 ～子育て支援を拡大～

②

一般質問 11人が登壇し町政を問う

⑥

常任委員会等視察研修報告

⑪

1月12日 第39回長洲マラソン大会

寒風の中、県内外から総勢185人の選手が参加 健脚を競った

第4回定例会

12月15日～19日(5日間)

町長から提案された条例の制定と一部改正、補正予算、人事案件などを慎重に審議し、全て原案のとおり可決した。一般質問は11人が行い、さまざまな角度から町の姿勢をただした。また町民からの陳情を所管の常任委員会へ付託し、審査した。

問

中学3年生までに引き上げる決断をした町長の想いは。

答

(町長)

下水道事業の赤字で、中学校3年生までの医療費無料化が思うように進まなかった。今年度、赤字解消のめどがたち、それを実現することで、子どもの疾病の早期治療を促進し、健康の保持及び健全な育成と子育て世代の負担軽減につなげたいと決断した。

問

満15歳まで医療費補助をする県下、郡内で競争のように行われているが、県費として要望してはどうか。

答

(町長)

他県では補助している例もあるので、町村会を通じて強く要望していきたい。



条例制定・

一部改正

● 保育の必要性の認定事由に関する条例

働くママを応援

保育の必要性の認定として、働く母親の労働時間を月に48時間以上と定める。

● 国民健康保険条例

出産育児一時金の変更に
よる金額の改正。

● 長洲町一般職員の
給与に関する条例

人事院勧告に準じた職員
給与の適正化を図るため。

子育て支援

中学生までの医

無料化へ

問

医療費助成により受診が増えることも懸念されるが。

答

(福祉保健介護課長)
医療費抑制面から年1回医療費の助成状況を助成対象者に知らせたい。

近隣の状況

医療費の助成

荒尾市	9歳
玉名市	15歳
玉東町	15歳
和水町	18歳
南関町	15歳
(平成26年12月現在)	

請負契約の変更

長洲町役場庁舎

耐震改修工事

331万円の追加

1. 庁舎屋上のモルタル不足を補う

2. 屋上フラッグボールの基礎不足を補う

専決処分

衆議院議員選挙費

委託金

685万円

全て原案可決
(全員賛成)

26年度 一般会計補正予算の主な内容

事業名	予算額 (万円)	事業概要
熊本県議会議員選挙費	141	熊本県議会議員選挙(平成27年度)の事前準備に係る経費。
介護保険システム改修事業	293	介護保険法の改正に伴い国の補助事業(1/2)を活用し、システム改修を行う。
新型インフルエンザ等対策事業負担金	14	新型インフルエンザ等の大規模な感染拡大に備えるため、予防接種用品・救急医療セット等を1市4町(玉名市・長洲町・和水町・南関町・玉東町)で共同購入する。
農地・水保全管理支払交付金事業	111	地域組織(塩屋区・折地区【新規】)による農地・農業用水等の資源の基礎的な保全管理活動や、施設の長寿命化のための活動に対して支援を行う。
道路補修・安全施設修繕等工事	770	道路利用者の安全面を考慮し、安全施設の整備及び排水溝の設置工事を行う。(長洲地内排水溝設置工事、横塘線の転落防止柵等設置工事)
長洲中学校プール濾過機改修工事	700	長洲中学校プール濾過機の経年劣化による故障のため、改修工事(取替え)を行う。

【主な質疑】

問 (福永議員)

後期高齢者医療療養給付費の負担金返還金が2327万円発生している。なぜ、これだけの金額が残るのか。広域連合へは後期高齢者の医療費を精査して繰り出すべき。

答 (福祉保健介護課長)

広域連合への負担金については、過去の医療費の伸び率等の推計をもとに出しているが、医療費の伸びが少なかったという事だ。

答 (町長)

このような金額の差がないように精査し、広域連合としてかかりした見積りをしなければと反省している。2300万円も出るということは、査定が甘かった。

問 (濱崎議員)

土木費に計上している①排水溝設置工事と②横塘線についての内容を。

答 (建設課長)

①は新町区内の梅田中学校線に並行して走る南側の道路で、集中的に雨が降った時の冠水を解消するための側溝整備。②の整備は、東荒神区の本山養魚場北側附近の道路で、通学路でもあり、危険の排除のため、転落防止柵などを設置するもの。

全員賛成可決

特別会計補正予算

国民健康保険

＜主な内容＞

●療養給付費等負担金返還金(国庫へ)

1150万円

●特定健康診査等委託事業

1365万円

全員賛成可決

公共下水道事業

＜主な内容＞

●公共枿設置工事費の追加

130万円

●浄化センター汚泥処理業務委託事業

1566万円

全員賛成可決

人事案件

○長洲町固定資産評価審査委員会の委員の選任について

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



池田一吉氏
(塩屋区)

全員賛成 同意



浦田明子氏
(平原区)

適任者として答申 全員賛成

平成26年第2回

一般会計補正予算

臨時議会

平成26年10月30日

〔内容〕

日立造船(株)宮野社宅を、地域優良賃貸住宅として再整備するための方策を検討する支援事業に対し国庫補助600万円を計上するもの。

〔主な質疑〕

〔問〕 (大森議員)

民間所有の社宅を調査する中で、地方公共団体への所有の移転が確認されなければ申請できないのか。それは関係なく調査が済んでからの話なのか。

〔答〕 (まちづくり課長)

公共施設として社宅を譲渡していただくのか、貸与していただくのか今後検討する。譲渡にも貸与にも、有償無償の問題があり、その中で固定資産税など金銭的問題も出てくる。どうしていくかは検討し、会社ともそのような協議をしている。

〔問〕 (福永議員)

社宅の形態はどうなっているか。600万円での部分について調査をかけるのか。

〔答〕 (まちづくり課長)

日立造船の社宅として12棟入居可能戸数が260戸程で500人近く居住され、土地、建物の所有は日立造船である。内訳は、約80戸が日立造船の社員、100戸程がJMU(ジャパンマリンユナイテッド(株))の社員。今回、主に日立造船と協議している。

〔問〕 (濱崎議員)

今回は、2次募集に応募され600万円の補助だが、1次募集の中で、長洲町が参考になる事業があるか。

〔答〕 (まちづくり課長)

地域優良賃貸住宅等の整備での官民連携調査事業の事例はないが、合志市が御代志駅周辺の再開発を官民連携で行う事業採択を受けている。

賛成12 反対1 可決



国へ意見書提出

〔農協改革〕に関する意見書

〔内容〕

一、農業者の共同組織であり民間組織であるJAに対して、強制的な組織変更をさせるのではなく、あくまでも農家・組合員・組織の総意に基づく自己改革を基本とするよう、十分配慮すること。

一、JAの行う事業は、地域社会のインフラを支える役割を担っており、この役割は今後も大きくなっていくことから、JAの事業について地域実態を無視したような過度な干渉は行わず、自主性を尊重すること。

建設経済文教常任委員会「採択」(全員賛成)

〔採択の理由〕

今後の政府の取りまとめ如何では、地域農業、農村に対して影響が出ることが懸念され、「農協改革」については、地域からの声を発信する必要がある。

〔本会議〕

「採択」(全員賛成)

国へ意見書を提出しました。



磯野 博議員

出町地区は最優先な重要課題だ

答 定住化の起爆剤として、今度も取り組んでいく

問 平成24年3月に策定された長洲町住まいづくり基本計画だが、その中の出町地区開発の現状と進捗状況を伺う。

答 (町長) 基本計画の中で重点地区に位置づけ、土

地区画整理事業を計画している。平成25年度に現況測量や方向性を検討する調査を実施した。今年度、地域住民に説明会を2回、地権者に土地地区画整理の勉強会を2回開催している。また個別にも訪問

等行っている。土地地区画整理事業を一部の地権者に理解が得られていないが、事業着手に向けて今後も努力していく。

答 (町長) 出町地区の開発を定住化の起爆剤としていきたい。ただ住民の同意がなければ進められない部分があり、ご理解をいただけるように努力していく。

空き家対策は急務だ

3月議会に条例案を提出する

問 国では、空き家等対策の推進に関する特別措置法案が成立した。本町でも空き家等への対策は急務である。町の考えは。

討を行ってきた。今後は、3月議会に条例案を提出するなどの町の実情にあつた空き家対策実施に向け取り組んでいく。



期待が高い出町地区

来年度の予算編成は

地方創生をチャンスと考え

予算確保に取り組む

問 緊急行財政行動計画を町一丸となつて取り組み、今年度をもって公共下水道特別会計の赤字が解消する。来年度の予算編成方針を伺う。

答 (町長) 地方創生の動き

は、町の活性化のチャンスでもあり、国・県と連携し、各種情報収集に努め、多くの予算確保ができるように、職員には自分たちの手で未来の長洲町を切り開く気概を持って取り組むよう指示している。

答 (町長) 町では一区一職員制度に基づく各行政区の担当職員が空き家の現状を再度調査した。その状況を踏まえ、長洲町空き家等対策会議や、長洲町空き家等対策検討委員会ですまざまな検



地域が活性化するには



道徳の時間に使われている副読本



浦邊朝章議員

道徳教育の指導内容と本町の取り組みは

答 児童生徒の発達の段階を考慮して行う

問 道徳教育に対する文部科学省の指導内容はどのようなものか。また、その指導に伴う本町の取り組みの実績は。

答 (教育委員長)

道徳教育は道徳の時間を要として、学校の活動全体を通じて児童生徒の発達の段階を

考慮して行う。人間尊重の精神と命に対する畏敬の念や豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、公共の精神を尊び、民主的な社会、国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境保全に貢献し、未来を拓く主体性のあ

る日本人を育成する。また、家庭や地域社会との連携を図り、さまざまな活動や体験を通して、児童生徒の道徳性が図られるよう配慮する。本町では、学習指導要領に則って計画を立て、全ての教育活動で道徳教育を推進している。

問 授業時間が小学1年で年34時間、それ以上は年35時間となる。それだけで足りるのか。

答 (教育長)

授業だけでは道徳性は身につかないと思う。授業以外にも体験等を通して養っていくものと思う。



建設中の集会場

地区公民館・集会場の財産管理は

建物等が未登記のところもある

問 地区自治会による公民館・集会場が多くできているが、建物等の登記や土地の賃貸借契約等は適正にしているよう指導しているか。

答 (町長)

地方自治法の改正により、行政区が地域

的な共同活動のための不動産、または不動産の権利等を保有する目的として、法人格の認可を受ける認可地縁団体が制度化された。町内24箇所ある介護予防拠点施設の中には、建物等の登記が完了して

いないところもあり、適正な対応をしてもらうように自治会に説明したいと思う。

問 借地に建てる場合、契約は結んでいるか。

答 (総務課長)

町有地はすべて賃貸借契約を結んでいる。(福祉保健介護課長)

問 空き家などの適正管理に向けての状況は、

答 (町長)

外部有識者で構成する空き家等対策検討委員会を開催し、条例案や空き家等の対策に関する事業について検討を行っている。



宮本哲太郎議員

進出企業群の移転は考えられないか

答 マザー工場と位置づけされており心配はしていない

問 町内の企業が進出して約50年になるが最新設備導入等の話もあり聞かない。企業の中には全国各地に新設備の工場を持つ企業もあると思う。将来的にはそちらに移転される考えなどないか心配である。町はどう受け止めているか。

答 (町長) 進出企業は昭和40年イノアック住環境(株)の創業に始まり、その後臨海部の埋立て地に

多くの企業が進出。現在、造船関連やアルミサッシ製造業を中心に約40社の誘致企業が操業している。近年の設備投資状況は平成21年に日立造船(株)の新キャスク工場が増設され、22年には船用ディーゼルエンジンの研究施設を建設。またジャパンマリンユナイテッド(株)も造船の塗装工場を増設され、23年には1200トンの能力をもつゴライアスクレーンを2基増設。リクシル(株)有明工場では大規模太陽光発電施設の整備が行われている。25年には不二ライトメタル(株)がマグネシウム合金研究開発用の分析装置の設備投資を実施されている。その他の事業所

でも設備投資が実施され全国の関連する事業所の中でも高い技術力、開発力、生産力を備えたマザー工場として位置づけされている。企業とのコンタクトはとられている。

答 (まちづくり課長) 企業との話し合いは毎年4月に実施している。採用状況や社員数の推移、業績などである。また今年から交流会を年2回行うことにした。

問 新川漁港の役割は何か。

答 (農林水産課長) 法的に規定されたものではない。第一種漁港で停泊を制限する施設でもない。

新川漁港の役割は何か

漁業権放棄により

玉名市の管理になっている

問 新川漁港は何のためにあるのか。

答 答弁は9月定例会の質問に出たときと変わらない。防災協定書はあるのか。

答 (町長) 漁業権放棄により昭和49年に管理者が玉名市になっている。岱明漁業協同組合が使用し避難港ともなっている。沈没船の処理も市に依頼している。

問 協定書はないのか。

答 (農林水産課長) 年度末までに玉名市が行うと聞いている。

問 協定書はないのか。

答 (副町長) 協定書はない。協定書がないのに避難港とはおかしい。

問 沈没船の撤去は。



進出企業群



管理されているのか？新川漁港



陸の玄関口が泣いている!!

問 長洲駅の構内（特に、金魚のオブジエ周辺）には雑草が生い茂っている。駅は陸の玄関口であり、利用する人に、気持ちよい印象を与えることが大切だ。雑草の管理に関しては何ら取り決めがなかったのか。

答 （総務課長）
その管理体制に

については、JR（荒尾駅長）と話し合っていない。今後は、JRがしっかりと管理をされ、構内の除草作業も年内には終わらせるとのことだ。

問 駅周辺の放置自転車対策は。

答 （町長）
明らかに不法投棄



市原一広議員

清潔で美しいまちづくりの実現を

答職員と共に問題意識を持ち取り組みたい

とみなされる自転車については、警察と協議を行い処分している。今後も、JRや警察と連携し、定期的な見回りや、適切な管理を行っていきたい。

平成21年度から、不法投棄防止の監視及び回収業務委託によるパトロール実施で、事業効果が出ています。また不法投棄が多く発生する場所には大型看板を設置し、ごみを捨てられない環境づくりに努めている。

問 不法投棄（特に、上沖洲・赤田線、高浜・赤田線、上沖洲・鷺巣線、また宮崎川の管理道路など）の防止対策には力を入れているか。

答 （住民環境課長）
来年度は、反射材を利用した、夜間でも見える看板の設置も検討したい。

問 マラソン大会の開催に向け協議を重ねたい

答 （町長）
『遅いあなたが主役です』の健康マラソン、この冬に開催

問 協議を重ねたい

答 （町長）
現在1月に開催し

健康マラソン大会の早期実施を

マラソン大会の開催に向け

協議を重ねたい

されるところだ。

問 『遅いあなたが主役です』の健康マラソン、この冬に開催

答 （町長）
現在1月に開催し



まちの特色を活かした大会を

ている「長洲マラソン大会」の一部に、一般の部の10キロを健康マラソンとして新たに位置づけることも考えたが、うまくいかなかった。新しいマラソン大会の開催にあたっては、関係機関と協議を続け、実施に向け取り組みていきたい。

健康増進や活気あるまちづくりを目指す。スポーツが盛んになることで、医療費の抑制やこの町に住んでみたいという思いにつながるのだと思う。ぜひ、長洲町の特色を活かした健康マラソン大会の早期開催を。

答 （町長）
十分協議を重ねていく。



徳永範昭議員

赤田・上沖洲線の道路整備は

答 早期整備を目指す

問 赤田・上沖洲線の道路整備はどのようになっているのか。

答 (町長) 赤田・上沖洲線は、長洲町を縦断する重要な都市計画道路で、国道501号から県道長

洲・玉名線の区間とJRをまたいで、清源寺区と宮崎区内においては、一部の用地を購入している所だ。この道路は、国道501号と国道208号を結ぶ広域的な計画道路である

ため、荒尾市、長洲町、熊本県の3者共同による早期整備を目指している所で、この道路が長洲町発展につながる大きな道路であると認識し県等に早期着工を要求していく。

答 (町長) 国道501号から

県道長洲・玉名線の区間、平成25年度に交通量調査を行っており、午前7時～午後7時までの12時間交通量で、小型・中型車が3117台、大型車が102台との調査結果で、朝夕の通勤時間帯の自転車通行が多い状況。

問 拡幅はどうか
路肩を広げる
拡幅の考えはないのか。

答 (町長) 現段階では拡幅の計画はないが、全体的に舗装が傷んでいるため、舗装の打ちかえを行う。

問 朝夕の交通量の多い平原区のクリーニング店前から交差点まではどうか。

答 (建設課長) 路面の方が傷んでおり、その補修を計画している。補修が終了後に、路肩の舗装の部分を広げるなど、安全に通行できるように検討する。



清源寺一丁田付近

問 供用開始されているところの交通状況はどうか。

答 (建設課長) 圃場整備の部分で、用地を確保している箇所はあるが、道路をそのまま通せるように全てつながった用地で確保できている状態でない。

問 自転車は左側通行となっているが、右側通行も多い。どうするのか。

答 (まちづくり課長) 会社の方へ早速出向き、再度、きちんとした交通ルールを守った自転車の乗り方で通勤していただくようお願いしたい。



朝夕の交通量が多い。安全対策を!



福永栄助議員

住民の仕事と暮らしを守る役割を果たすに足る財政担当能力を持ち得ているか

答町税はおおむね20億円程度で推移し、財政力指数も0.5以上を示している

問 自治体の財政目的である住民の仕事と暮らしを守る役割を果たすに足る財政担当能力を持ち得ているのか。過去10年間の決算状況に基づいて、歳入歳出構造、各指標の現状と将来見通しを伺う。

答 (町長) 基幹収入である町税は、企業の景気や税制改正等の影響があったが、20億円程度ある。財政力指数も0.5以上と他町と比べ高い数値を示している。実質公債費比率も18・4%まで下げることができた。ただ、社会保障費関係の増加が歳出予算を圧迫しており、下水道会計の累積赤字は解消したが、財政運営におい

て厳しい状況が続くものと考えている。

問 標準財政規模をどのように捉えているか。

答 (総務課長) 標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すものだ。

経常一般財源が少なすぎる

産業の活性化や定住化を進め、
税収を上げる方法をとっていく

問 標準的な行政活動を行うに必要な経常一般財源の額と捉えられているが、その経常一般財源が少なすぎる。標準財政規模で経常一般財源を割ると出る比率が100%を超えていけばいいが、平成15年度から順番に言うとうと100・3%、106・5%、92・2%、101・4%、100・3%、20年度99・1%、

96・2%、84・2%、23年度だけが103・7%で24年度93・6%、25年度に至っては86・6%だ。経常的経費に充てて足りないから、他の一般財源を充てなければならぬ。投資的、裁量的経費ができないということではないのか。

答 (町長) 歳入の税の部分、1次産業、2次産

業、長洲の企業がさらに活性化して収益を上げていただく。固定資産税も増やすためには、

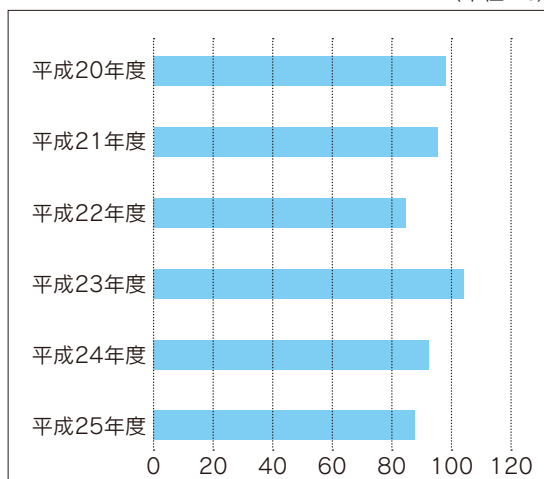
定住化を進め、住宅あるいは企業が設備投資をする。そういう方向に持っていく以外はないと思っている。

問 将来負担比率が128・5%だが、健全な基準は。

答 (総務課長) 全国平均が60で県平均72・5%なので、まず60〜70%を目指していかなければならないと考えている。

経常一般財源比率の推移

(単位: %)



※経常一般税源が、100に近づくか、上回るほど、財源は豊かになる

用語解説

標準財政規模とは…地方公共団体が通常水準の行政サービスを提供する上で必要な一般財源の目安となる数値で、地方税や地方交付税など自由に使えるお金の大きさをあらわしています。

経常一般財源とは…毎年決まって入ってくる経常的収入のうち特に使い道の決められていないもの。

将来負担比率とは…将来負担比率は、各自治体が将来に支出しなければならない財政負担が、「標準的な状態で収入が見込まれる、各自治体の一般財源の規模」の何倍にあたるかを示す指標です。つまり「将来にわたって返済しなければならない借金が、1年間の収入に対してどれだけの割合を占めるか」の割合を示すもの。



濱崎 久議員

日立造船(株)宮野社宅の町営住宅化についてその後どう進めているか

答事業の課題を調査し、取り組みたい

答 (町長)
公募型プロポーザルを実施し委託業者を決定した。日立造船本社で、一緒に検討することを確認し、先導的官民事業として調査し実施に取り組む。

問 雇用促進事業用の住宅の解体・宮野社宅の閉鎖などで、人口減が考えられる時チャンスを失しないよう、

答 (まちづくり課長)
またアパート経営地元業者の育成も考えながら住民提供による4m道路新設とのセット、家を建てる宅地を求める住民が安く買えるよう、道づくりを考えるべきではないか。

問 障がいのある人や老人が、長洲駅を利用できるように支援を検討されたか。

答 (町長)
何らかの配慮の必要性から、JR長洲駅では事前に連絡いただければ対応してもらっている。町も相談を受け、個人のニーズに合った支援を検討していく。

問 横塘線の改良は、ようやく予算化されたが内容はどうか。

答 (町長)
教育委員会や長洲小学校と現地で協議し、転落防止柵の設置や一部側溝のつけかえを行い、歩行者の安全性を確保したいと考えている。

問 街路樹の管理について、どう対応したか。

答 (まちづくり課長)
福祉タクシー・車椅子でも乗れるタクシー等、来年度予算で検討する。



今後の活用方法を模索する宮野社宅

前回質問について

答 (町長)
長洲駅海岸線の国道501号から金魚と鯉の郷までの区間の街路樹を、約40本2月頃剪定したいと考えている。次年度から計画的に枝を短く剪定したい。



街路樹(501～JMUの通り)

その他

- ①不二ライトメタル家宅搜索について
 - ②自然災害による防災対策について
 - ③新川漁港は、長洲の税金で玉名の人に使われているのか
 - ④有明沿岸道路について
 - ⑤長洲港の船だまりについて
 - ⑥教育基本方針について
 - ⑦養魚振興事業費補助金交付について
- 以上質問した。



これからどうする!? 教育委員会会議



福本みや子議員

これからどうする!? 長洲の学校教育

答 教育大綱を策定し、総合教育会議を導入していく

問 全国学力・学習状況調査を踏まえ、対応策と成果は。

答 (教育長) チームティーチングや少人数編成にするなどの丁寧な指導体制や、各種の学力充実タイムを盛りこみ、学力

が定着する取り組みを行っている。

問 HPで公表した学校差を具体的に示して欲しい。

答 (教育長) 町内4小学校5年生算数Bで平均が最大20ポイントの差がある。

問 差があり過ぎる。危機感を持つて欲しい。格差の検証と改善策をどう考えるか。

答 (教育長) 学習習慣が身につ

いていないことや学校全体に落ちつきがない。県教育事務所の指導を受け、教師の授業力を養い、補修学習を拡充し改善していきたい。

ものづくり教室をまちづくりへ展開させては

体験の場を増やし、

産学官で推進したい

問 金魚と鯉の郷でのものづくり教室の現状は。

答 (町長) 毎月1回開催し、幼・保育園児や小学生連れの親子連れ、一般の参加が多い。熊大ものづくり塾の協力で、世界に一つの手づくり作品が好評である。

問 指導者育成やその活用はどう考えているのか。

答 (まちづくり課長) 熊本大学の講座認定を受けた木育指導員の組織化を図り、小学校や介護予防拠点でのものづくり体験の提供を図っていききたい。



楽しいものづくり

問 過疎地域の地元特産品を発掘し成功した女性リーダーや、地元伝統産業を子どもたちに体験させる高齢者の活動を視察研修した。長洲も足元の資源を見直し、生かしたも

答 (町長) ものづくり体験で地元産業を見直し、自分の将来を考える子どもたちを育てていきたい。



大森秀久議員

医療介護総合法、国の考え方にどう対応？

答町の実情に応じ、多様な事業で対応していく

問 新総合事業への移行は、2016年度末まで現行の仕組みを継続できるが、町はどうするのか。

答 (町長) 移行の時期は平成

28年度からの実施を予定している。
問 厚労省から示されたガイドライン案を、町はどのように受けとめているか。

答 (町長) 町の実情に応じた多様なサービスの構築により、質を落とすことなく、必要なサービス体制を確保し、地域力を活用した支援体制を構築していく。

問 今後、介護保険料を抑制、介護の提供基盤を拡大し、持続可能な制度とするため、どうするのか。

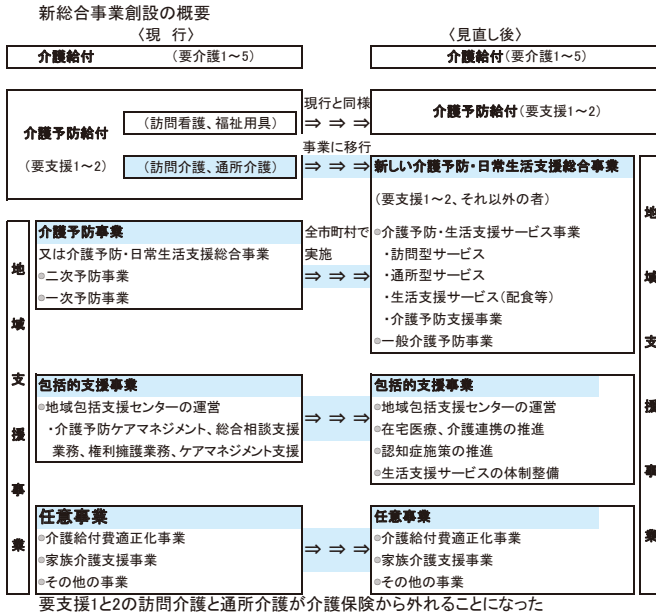
答 (町長) 施設整備の拡大が保険料に転嫁される制度上の課題はあるが、23年度までに地域密着型施設を中心に整備を進めてきた。今後は、待機状況利用者ニーズを踏まえ検討したい。

問 南関町の補助総額が1500万円と聞くが、これは長洲町では予算全体の何%になるか。

答 (総務課長) 0.2%程度だ。

問 長洲町の財政に置きかえれば、0.2%である。子どもの経済的問題としてではなく、定住化対策の一つとして考えてよいのでは。南関町では就学前の子

どもの数が増えていると聞くが。
答 (まちづくり課長) 南関町の住んで良かったプロジェクトを導入した時は、子どもの数が増えたと聞くが現状は減っているようで、そういった意味で定住化策というのは、難しい問題がある。総合的に考えていく必要がある。



給食費への補助、定住化対策として

総合的に考えていく

問 南関町が月額2000円の補助を行っている。長洲町は給食施設が町内になく、その分持ち出しが少ない。そこで給食費の一部補助、減額は考えられないのか。

答 (町長) 他市町村を見て、一部補助は確かにある。長洲町も他に比べ特化した子育て支援もあり、総合的にまた財政的な見込みも考えたい。

荒尾・玉名の給食費

	小学校	中学校
南関町	240円	240円
玉東町	240円	290円
和水町	236円	282円
長洲町	245円	285円
荒尾市	245円	285円
玉名市	252円	293円

*1食当たりの単価

上記、単価で算出した給食費から

○南関町は小学校・中学校とも月額2,000円を補助

○玉東町は月額 小学校1,000円、中学校 1,600円を補助



障がいのある人に雇用・就労支援を

問 障がいのある人の福祉サービス提供主体が町に一元化され、働く意欲と能力のある障がい者が企業等で働けるよう各種雇用支援制度の周知や企業開拓を行い、一般就労への移行を推進する計画で取り組まれているが、その進捗状況は。

答 (町長) 福祉施設から一般就労への移行については、平成24年3月に長洲町第3期障がい福祉計画を策定し事業推進しているが、一般就労への移行は厳しい状況である。障がいのある人の雇用支援は、相談支援専門員や福祉施設



竹本信次議員

障がいのある人がもつと「働ける社会」に!!

答 各種雇用支援制度の周知と、企業開拓を図りたい

等及び関係機関と連携し支援したい。

問 障がいのある人を受け入れている町の企業が何社で、何名受け入れられているか、また企業に対してどのような取り組みをされているか。

答 (福祉保健介護課長) 平成26年4月1日現在で、障がいのある人を受け入れている企業は11社で72名である。企業には、長洲町企業等連絡会議等で各種雇用支援制度の周知を図りたい。

六栄・腹赤小校区計画道路整備の加速を!!

町道向野・平原線の道路改良を促進したい

問 町の人口は、長洲・清里小校区が7142人、六栄・腹赤小校区が9411人で、六栄・腹赤小校区が2千人以上多く、六栄小校区から工業団地や中心市街地へ真っ直ぐ抜ける計画道路整備の促進が急務である。町道

答 (町長) 町道向野・平原線は施工延長約922mのうち、現在646mの道路改良が完了し、70%の進捗状況である。今年度は一丁田

橋から赤田・上沖洲線の計画道路用地までの延長78mの工事を発注しており、未取得用地の取り組みを促進したい。

いるが、未着工の状況である。交通状況も踏まえ、町道向野・平原線の道路改良を優先的に進めたい。また清和団地から腹赤(町道上沖洲・鷺巣線)に抜ける道路整備を図れば通行が緩和されることも含め考えたい。



六栄・腹赤小校区インフラ整備の促進を



荒木睦子議員

各種研修を通して、職員の資質向上を

答 職員のやる気を持続させる環境づくりに努める

問 公務員は「全体の奉仕者である」を基本として、職員の皆さんは日々住民サービス向上に努力されているが、職員の数も10年前に比べ50名程少なく、1人の職員が担う仕事は増え、住民の要望も複雑化している。

行政能力の強化につなげるため、どのような対策をとっているか。

答 (町長) 管理職の階層別研修を通じ、職場環境における管理や職員のやる気を持続させる環境づくりに努めている。

定住自立圏構想での人材育成のため

他の市町村との広域連携による職員の派遣研修の成果は。

答 (総務課長) 今年度から取り組まれている、一区一職員制度の成果は。

問 今年度から取り組まれている、一区一職員制度の成果は。

答 (福祉保健介護課長) 福祉避難所においては、スタッフの方も揃っておられるので、受け入れ体制を取られていると思っている。

問 福祉避難所の周知については、あらゆる機会を通して説明して欲しい。

答 (福祉保健介護課長) 周知については、座談会等集まりのときに説明していく。



接遇研修の成果を

障がい者の災害時の支援は

福祉避難所との協定を結び

支援を図る

問 災害に対する意識が高まっている昨今、それぞれの地域で自主防災の取り組みも広がり、助け合い、見守り活動の推進が図られている。その中で、障がいを持った方々の支援はどう考えているか。

答 (町長) 医療法人社団聖和会及び社会福祉法人池修会と、災害時の福祉避難所に関する協定を締結し、町内11カ所を確保している。

問 避難所での介護や支援はどのように



共助・公助で

査会
調委員
報
広特別

日進月歩の情報化社会

(東京 シェーンバツハ・サボ)

10/20
〜
10/22

「読みたくなる広報を目指して」

研修初日は全体会として、3人の講師からそれぞれ専門分野の実例を紹介しつつ、「伝える広報」から「伝わる広報」へ、「広報紙のレイアウト」、「写真の見方考え方」について講義を受けました。

今回の研修に参加した議員7人のうち4人は、広報の作成についてはまったく経験がなく、広報を読んでもらうための知識について初めて学ぶ機会となったのですが、まさに目からウロコの連続で、大変に充実した研修となりました。

ク」を受けました。

クリニックスは本町を含め9町の「議会だより」について1紙づつ批評を受け、良い点や改善すべき点など、読む側の視点に立って評価を受けました。「潮さい」は各ページ毎で、目の位置や大きさ、わかりやすい見出し、金額の単位、写真の大きさでの統一などで指摘を受けましたが、全体的には良く出来ているとのことでした。

本町の議会だより「潮さい」も、先輩議員の努力により、さまざまな試みを取り入れつつ、それを引き継ぎながら、さらにわかりやすい内容にすべく取り組んでいます。日進月歩の情報化社会のなか、ま

まだまだ改善の余地があるものと感じております。

今回の研修で学んだことを、これからの編集に取り入れ、町民の皆さまにわかりやすく「伝わる」議会だよりを目指していこうと、委員全員気持ちを新たにいたしました。



文教経済建設
常任委員会

愛知県弥富市から学ぶ

11/17
〜
11/19

「狭あい道路の拡幅整備を推進」

市議会的一般質問で「狭あい道路の解消の方策」を問われ「セットバックによる道路の確保」により居住環境の改善を図ると位置付け、整備に関する要綱に基づき実施。予算は毎年800万円。課題も多いが、制度導入により寄附件数も多くなり、狭あい道路の解消へつながっている。

「金魚の生産日本一」

弥富金魚は江戸時代の終わり頃、奈良県の大和郡山より伝わり、約150年の歴史がある。現在、日本産金魚として系統図に示されている25品種の全品種が生産され日本一を誇っている。せり市は活気にあふれ、関東・九州からも買い付けに來られていた。せり市会場では、ボランティアガイドさんから詳しい話を聞くことができた。また弥富市の観光マップには、「金魚のまち散策コース」も示されており観光で來られた人達への「おもてなしの心」が感じられた。



活気あふれる「せり市」

三重県多気町から学ぶ
せいわの里「まめや」

― 6次産業成功事例 ―

「まめや」は農村文化を次の世代に伝えたいという想いのもと平成15年に設立。現在、農村料理レストラン売上げは全国2位。農産物だけでなく、野山の緑、土の感触、風の心地よさ、人と人とのつながりなど、せいわの里を包むすべてのものが農村らしい魅力を生み出す大切な資源である。地域の資源を活かし、大切なふるさとを元気に、輝いたかたちで次の世代につなげたいという想いがひしひしと感じられた。

町民のひろば

ハンドベル松原の軌跡



松原区ハンドベル
松浦 国勝 さん

平成17年に社会福祉協議会のデイサービス研修の一環として取り入れたものを、松原区独自の福祉行事にするまでに進化、発展させて、現在では松原区にとっては、「なくてはならない」ものになってきました。

そして現在では、時と場所に応じて、オカリナ、ハーモニカを併せた合同発表会や、玉名地区、荒尾地区、長洲町内の各福祉施設の慰問活動を行っております。

今年で発足11年目になり、演奏できる曲目も50曲を超えました。新しいもの、懐かしいもの、心に響くものとあらゆる分野のものを含めて、勉強、努力を重ねて、これまで以上に親しまれ、喜ばれるようなハンドベル活動をしていきたいと思います。

初めて町議会を傍聴しました



徳永 伸介 さん（清源寺区）

議会を直に観て、感じてみたくて足を運んでみたのですが、長洲町の一般質問は「政策を質すもの」「具体的な提案を含むもの」の2種類で言えば、前者が多いように感じます。

後者のような提案的な質問もあっていましたが少ない…町議と職員が手を取り合って“まちづくり”をしているように、住民の目には見えにくかったと感じます。

特に気になったのは「政策を質す」質問の中に、行政に多く求め過ぎていることに違和感を抱いた…議員や住民でもできること（やれること）も行政に求め過ぎている気がします。

「産官学民」みんなで町は創っていくものではないだろうか？町長も、町議も、町職員も、一人の町民…

本議会でも議論されていた「ハードやソフト」だけではなく、みんなが「ハート」で繋がる町づくりが大事だと思います。

ひと言

今年の年明けは冷たい風に震え、寒さに弱い私はこたつ番を決め込み元日の初詣は見送ってしました。

例年より暖冬という予報に期待したが、諦めの心境で過ごしている。しかし2月の声を聞き、寒さの中にも自然の発する音や、光や、香りのなかに春の訪れを感じるこの頃である。

モーツアルト大好きな私は、この時期「春へのあこがれ」という歌曲

皆さん傍聴に出てこんね!

次の定例会は
3月11日(水)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

を思い出す。
確か以前は小学校の教科書にも載っていたがまさに聴けば納得の名曲である。
(大森)

広報委員	
委員長	徳永 範昭
副委員長	竹本 信次
委員	福本みや子
委員	大森 秀久
委員	荒木 睦子
委員	磯野 博
委員	市原 一広
発行責任者	
議長	松井 一也